



河内長野市市民大学「くろまる塾」認定講座

いきいき講座

(旧称：モックルいきいき講座)

平成25年度(前期) 人生のターニングポイント
～わたしの人生を変えた瞬間・ひとこと～

回	日程	テーマ	講師名
1	7月4日(木)	春野恵子の浪曲一直線！ ～女優の道からビビッときて～	女流浪曲師 はるの けいこ 春野 恵子さん
2	7月9日(火)	私にしか書けないものがある ～反響の乏しいテーマを追う勇気～	ジャーナリスト あさの えいこ 浅野 詠子さん
3	7月18日(木)	男子厨房に入る！ ～育児・家事・介護に関わって～	(有)ウェルネット 事業本部 やまもと きよたか 部長 山本 清隆さん (元辻学園栄養専門学校教授)
4	7月23日(火)	東日本大震災の復興活動を通してみえたこと ～私の人生を変えた多くの出会い～	堺市立五箇荘小学校 いけだ しょういち 学校長 池田 勝一さん (民間人校長採用)
5	7月30日(火)	人生、太く永く、生涯現役 ～万事如意～	特定非営利活動法人 GIS総合研究所 かわぞえ ひろし 代表 川添 博史さん

募集要項

と き 平成25年7月4日～7月30日の期間の5回シリーズ
《時間》10時～11時30分

と ころ 河内長野市立市民交流センター／4階イベントホール

対 象 市内在住・在勤の方 ●参加費 無料

定 員 280人(申し込み多数の場合は抽選)

申込方法

往復はがきに必要事項を記入して、6月15日(土)【当日消印有効】までに、
下記へお送りください。なお、同居2名まで1枚の往復はがきで申込可能。

※はがき往信面に、郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号を、
返信面に、受講希望者の郵便番号・住所・氏名を明記のこと。

〒586-8501 (住所記載不要)

河内長野市教育委員会 生涯学習課「いきいき講座」係

(問合せ) TEL 53-1111 内 737

日時	テーマ	講師	各講師からのメッセージ
7月4日(水)	春野恵子の 浪曲一直線!	春野 恵子	東大卒業後、出版社に勤めましたが、役者の夢をつかむ為に退社。オーディションを受け続ける中に「進ぬ!電波少年」があり、お笑い芸人坂本ちゃんの「家庭教師・ケイコ先生」として、一躍人気者になったのです。本企画終了後は、本名の唐木恵子の名でドラマ、CM、司会、バラエティ番組などに出演。しかしタレント活動は本意ではなく思い悩んでいた時、浪曲と出会い感銘を受けました。2003年、上方の浪曲師第一人者の春野百合子に弟子入りし、3年後「春野恵子」の芸名で、初舞台を踏みました。現在は大阪に活動拠点を移し、修行を重ねながら浪曲師を続けています。今年は浪曲を英語で演ずるなど、新しいことにもチャレンジしています。(※「進ぬ!電波少年」-98年~02年日本テレビ系列局で「進ぬ!電波少年」のリニューアル番組を放送)
7月9日(火)	私にしか書けない ものがある	浅野 詠子	私淑するジャーナリスト本田靖春(1933-2004年)は、取材の精神について「こつこつ坑道を掘るように鉱脈を掘り当てる」と言いました。私が地方紙を辞め、不安定なフリーの道をえらんで5年。テーマは財政や情報公開など地味ですが、己の坑道を掘り、何とか3冊の本を世に出すことができました。現在は触法・精神障害者への強制医療にまつわる人権課題を取材中です。周囲に話しても反応は芳しくありませんが、ここに書く使命を感じます。
7月18日(木)	男子厨房に入る!	山本 清隆	子供の頃から魚釣りが趣味で、釣った魚を自分で捌いて調理していました。大学でも食品学を専攻し、食品メーカーに就職しました。しかし、商品開発や品質管理業務に携さわっていましたが、食品メーカーの現実に失望し退職。その後、調理師学校や栄養専門学校に勤務。しかしここでも長く勤務していると、「先生」と言われる自分に違和感を覚え退職しました。1986年に結婚。その頃よりすでに義母が軽い認知症を発症し、新婚当初より介護が始まり、88年に子供が生まれましたが、妻も仕事があり、義母の世話や子供の世話、家事等を妻と分担してすることになったのです。厨房に入れたことが、人生を豊かにしたと思います。
7月23日(火)	東日本大震災復興活動を 通してみえたこと	池田 勝一	中学・高校と尊敬する先生と出会い、教員を志し大学に入学したが、日々、クラブに明け暮れ、教職試験に失敗する。卒業後の3年間は教員をめざしつつ社会体育(幼少年体育・サッカー・野外活動等)の指導を経験し、そこで人生をかえる上司と出会い、33年間社会体育の指導者として勤務。在職中にもう一度勉強をし直したいと思い、大学院に進んだが、在学中に大震災があり、1年間休学して被災地にて震災復興支援活動をしながらか職試験を受験した。堺市の民間人校長として採用される。被災地での活動は3ヶ月間の約束で赴いたが、多くの人と出会い、また支援途中で放棄するわけにはいかず、約1年間活動をさせていただいた。自分の生き方として、『為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり』常にプラス思考でこの言葉を大切にしている。
7月30日(火)	人生、太く長く、生涯現役	川添 博史	ちょうど10年前、阪奈道路を走行中渋滞に巻き込まれ、ふと前方の風景に目を止めました。生駒山に太陽が沈む、まさにその瞬間でした。51歳という年齢が夕日と重なって見え、「このまま自分の人生も日没を迎えるのか・・・」と、ふと思ったのです。早速、退職願いを提出しNPO活動の準備に取り掛かりました。夢でもあり、ライフワークでもある地理情報、位置情報システム(GIS)の研究する団体です。私自身に成功体験が無いということ、輝かしい賞をもらったわけでもなく、人生を悟ったわけでもありませんが、私が感じてきたこと・気づいたこと、失敗したことなどを率直に述べさせていただこうと思います。